

《履修上の留意事項》この講義は歯学部との合同講義です。

この授業ではGoogle Classroomを使用して授業資料の配布や出席確認を行います。

《担当者名》花淵馨也（看）

【概要】

「病い」や「障がい」は生物医学的に決定されるだけでなく、人が生きる社会や文化のあり方とも深く結びついた広範な現象である。この授業では、現代社会において増加している「拒食症」、心の性と身体の性が一致しない性同一性障害などを含む「LGBTQ」、これら「食」と「性」という人間の基本的営みに関わる二つの問題についてとりあげ、病いや障がいを社会や文化の文脈において捉える医療人類学の視点から考察する。

【学修目標】

- 1) 病気や医療を社会的・文化的に構築される現象として相対的に捉える医療人類学的視点と方法を説明できる。
- 2) 現代社会における人の生活と病気との関係について広い視野から捉える能力を身につける。
- 3) 医療の基盤となる深い人間理解と、社会の未来を切り拓くための教養を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	講義全体の内容と目的の説明	花淵馨也
2	人間にとって食とは？	食の人類史について説明できる。	花淵馨也
3	病いの起源	人類進化と病気の関係について説明できる。	花淵馨也
4	拒食症とは	拒食症の特徴と実態について説明できる。	花淵馨也
5	器としての身体	具体的事例を通じて、拒食症患者の身体や食に対する歪んだ認識について説明できる。	花淵馨也
6	グループワーク：なぜ拒食症が増加しているのか？	現代社会における環境要因について説明できる。 多様な価値を認め、異なる考えをもつ他者と意見を交わす能力を高める。	花淵馨也
7	現代社会と女性の身体	拒食症増加の社会的・文化的要因について説明できる。	花淵馨也
8	共食と孤食	現代社会のフードスケープと食事の社会的機能について説明できる。	花淵馨也
9	ジェンダーとセクシャリティ	文化としての性の規定と境界の性について説明できる。	花淵馨也
10	LGBTQとは	性別二元論と性の医療化について説明できる。	花淵馨也
11	第三の性ヒジユラ	異文化におけるトランスジェンダー文化について説明できる。	花淵馨也
12	残された課題と当事者の声	日本におけるLGBTをめぐる課題と当事者が抱える苦悩について説明できる。	花淵馨也
13	多様な愛のかたち	具体的事例を通じて、LGBTの愛のかたちの多様性について説明できる。	花淵馨也
14	ディベート：同性婚について	同性婚の問題について多角的な視点から分析できる。 多様な価値観を認め、異なる考えをもつ他者と意見を交わす能力を高める。	花淵馨也
15	まとめ	全体のまとめ 病いや障がいを社会的・文化的文脈において説明できる。	花淵馨也

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポート100%

【教科書】

なし：資料はコピーして配付する。

【参考書】

磯野 真穂 『なぜふつうに食べられないのか』春秋社

波平 恵美子 著 『からだの文化人類学』（大修館書店）

池田 光穂 & 奥野 克己 共編 『医療人類学のレッスン：病いをめぐる文化を探る』（学陽書房）

浮ヶ谷幸代 『身体と境界の人類学』春風社

【備考】

この授業は歯学部との合同授業である。

【学修の準備】

予習：講義で出された宿題を行う。予告された授業テーマについてインターネット等で調べておく（120分）

復習：講義内容についてのまとめを行う。講義で出された課題に取り組む。また、講義で取り上げた内容について、さらに自分で調べる（120分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。

（DP5）多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。